

# くるくるつうしん

## 第28号

平成23年 1月31日発行

特定非営利活動法人 くるくる

〒448-0843 刈谷市新栄町7-73 フラワービル

Mail: kurukuru@arion.ocn.ne.jp

URL: http://kuru2.sakura.ne.jp

TEL: 0566-28-7496

FAX: 0566-70-7296

法人本部 6階  
就労支援センター 3階

くるくるクリーニング	営業日時	月～金曜日 9:00～18:00
	刈谷市新富町1-805	TEL&FAX 0566-25-2852
生活支援センターくるっと	刈谷市高倉町1-410	TEL: 0566-70-9610 FAX: 70-9612
くるくるホーム	刈谷市日高町2-417	TEL&FAX 0566-87-7341

2011年最初のくるくるつうしん28号は新拠点確保、くるくるホーム2号始動準備のお知らせで始まります。平成23年度はまたまた事業が拡がり、スタッフも増えますが、理念は忘れず、さらに拡げ深めていきたい年です。今年もよろしくお願いたします。



1月15日  
生活介護・児童デイでもちつき大会  
を開催！よもぎ入りのおもちも  
いしかったね♪

平成16年1月にNPO法人の認証を受け丸7年。いよいよ8年目に突入です。

7年間を振り返ると、少しずつ、ゆったりと「障害のある人たちの存在が当たり前」であり、「共に支えあう暮らしやすい街」に近づいてきているのではないかと感じます。

刈谷初のケアホームがスタートしてから約1年。入居者の皆さんも少しずつホームの生活に慣れ、「ケアホームで暮らす」という選択肢が現実味を帯びてきました。これまでくるくるの利用がなかった人達からも「ケアホームを利用したい」と問い合わせがあるなど、これまで隠れていたニーズが表面化してきています。そうしたニーズに応えるべく、次のホーム立ち上げに向かって動いています。

ホームの物件を探していると、やはりまだ「不安だから」「ホームのイメージがわからないから」といった理由で大家さんからお断りをされることがあります。まだまだ自分たちの力が足りていないなど思いながらも、ご理解して下さる人も着実に増えてきています。地道に、スモールステップで皆が暮らしやすい街になっていくことがこれまで支えて下さった方々への恩返しだと思っています。

本年も変わらぬご支援よろしくお願致します。

(鈴木)

# \* ホームヘルプ \*

11、12月の2か月間、くるくるでは初めて高次脳機能障害の方の移動支援を行いました。

病気や交通事故などの様々な原因で脳が損傷されたために、言語・思考・記憶・注意などに障害が起きた状態を高次脳機能障害といいます。外見からは障害がわからないことが多いため、周囲の理解が得られにくいと言われていました。

今回は、将来的に専門性のある相談員の確立を目的として民間の保険会社の助成金を受けた脳外傷友の会みずほ様(脳外傷の会)の要請があって協力させていただきました。ご家族との通院を「一人で行けるようになりたい」というご本人のニーズからの支援。脳外傷の会の会員さん(高次脳機能障害のお子さんを持つ親御さん)が相談員となり、Aさんとそのご家族、くるくるで話し合いを重ねていきました。

ヘルパーとしては「ご本人が電車を間違えずに乗れるか?」「乗り換えはできるか?」など、本当に一人で通院できるのかという不安がありました。また失語症という障害があり、コミュニケーションの取り方を心配しながらも一緒にチャレンジしていきました。

それでも、回数を重ねることでご本人との関係や障害への理解が深まり不安も解消していきました。ついにはヘルパーが違う車両から見守っていても、自分からすすんで降りることができるようになりました。これも、ご本人が立てた目標から始まり、サポートする相談員とくるくるが連携したから達成できたのではないのでしょうか。

高次脳機能障害は約2年前に障害者自立支援法の対象とする方向が示されたところであり、地域に埋もれているニーズを考えると、これから専門性を高めていかなければならない分野です。主に知的障害からスタートして地域福祉を進めてきたくるくるですが、今回のケースのように様々な障害のある方のニーズはあり、たくさんの方が支援を必要としています。どんな障害があっても地域で暮らすためには、小さなことからコツコツとスモールステップでクリアしていき、それを自立につなげていくことが大事だと確認もできたケースでした。

(吹越)

特別支援学級にバス通学している  
Bさん(中学1年生)の場合

高等部になったら自力で通学できるように、約1年前から徒歩と電車での通学練習を始めました。ヘルパーは駅から学校までのルートを確認してから、駅名の絵カードを作成し支援に入りました。

最初の頃、Bさんはヘルパーに確認してから駅に降りていました。利用を繰り返して、ご本人の自立度を確認しようと思いをしていたら降車駅を通過したこともありました。その時は、乗降車駅を書き示して振り返り、失敗から学べるようにつなげていきました。今では降車駅を間違えることはありません。また、電車の時刻を腕時計で確認することもできるようになっています。ご本人が自立していく姿を見ながら支援させていただくことは、ヘルパーにとってこの上ない喜びです。

今回の支援で大きな成果がもう一つありました。今までは常勤スタッフを介して伝えていた情報を、登録ヘルパーさん同士が話し合い、自然と情報共有しながら支援内容を確認し、工夫を重ねられたことです。

ホームヘルプや移動支援は個別の直接支援なので、ヘルパーは日々の支援で悩むことも少なくありません。そんな場合に複数で支援を考えられたら…。情報共有やチーム支援の大切さを改めて実感し、今後の支援のヒントにしていきたいと考えています。

(菊川)

	利用者数	居宅介護	行動援護	移動支援	総利用時間
10月	67人	76.5時間	43時間	355時間	474.5時間
11月	68人	86.5時間	47時間	361時間	494.5時間
12月	73人	74時間	35.5時間	384時間	493.5時間

# \* レスパイト \*

活動を終えていい表情で帰っていかれるメンバーさん。今年度もご参加ありがとうございました。

## ☆バンドしようぜ☆

12月育成会クリスマス会で演奏実施！メンバー変更などもありましたが、仲間意識を持って取り組みました。

## ☆料理クラブ☆

4月より総合文化センターアイリスで実施。毎回参加者が多く人気。多くの方から「楽しかった」とおっしゃっていただきました。

## ☆電車クラブ☆

今年度のお出かけベストはどこ？毎回楽しみにしてくれています。

## ☆創作ダンス&音楽療法クラブ☆

少人数ではありましたが、内容は盛りだくさん！“動き”“静けさ”がほどよく混ざっていますね。

## ☆スポーツクラブ☆

男性メンバーの参加多し。このクラブだけは参加する！という方も。

## ホーム向け会員新設

「踏み出す！地域生活。」(平成23・4月～)

昨年行ったアンケートでは、多くの方がホームを望んでいても開始時期や準備のイメージをなかなか持てないということがわかりました。そこで、地域生活を計画的に実現できるサービス『ホーム向け会員』を新設。より活用しやすいサービスへとリニューアルします。

## ホーム今すぐ会員

対象：3年以内にホーム生活を希望する方（18歳以上）

## ホーム準備会員

対象：5年以内にホーム生活を希望する方（18歳以上）

### ホーム向け会員&平成23年度余暇クラブ説明会

平成23年3月1日（火）

平成23年3月8日（火）

時間：10:30～12:00

場所：刈谷市民ボランティア活動支援センター

※参加される方は事前にご連絡ください 0566-28-7496

詳細は説明会にて！

# \* ケアホーム \*

早いものでケアホームが始まってもう1年が過ぎました。

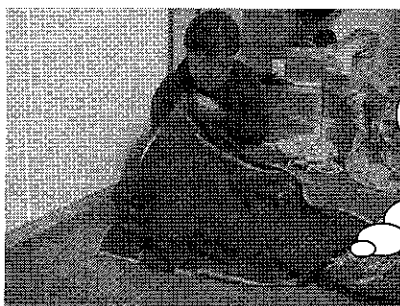
ホーム開始にあたって、夕食サポーターへ向けた勉強会を設けましたが、最初は入居者の方との接し方も分からず、不安の声も上がっていました。

勉強会や夕食作りの回数を重ねるごとに当初の不安は薄れてきたのか、入居者の方との接し方や栄養面などについてのアドバイスも飛び交うようになりました。今では、入居者の方がお風呂掃除や洗濯物の取り込みを自発的にできるような声かけもできるようになりました。入居者の方も宿泊サポーターとの関わりや宿泊自体に戸惑ってる場面もありましたが、月日が経つに連れて、ケアホームは「お泊り」ではなく「住む」ところ、仕事が休みの日には実家に帰省という意識がでてきたようです。

当初宿泊に関わっていたサポーターは殆ど入れ替わりりましたが、入居者の方も新しいサポーターが来るたびに感じていた戸惑いも薄れてきています。ご本人からサポーターにイベントや企画を相談したり誘ったり、と今までになかった関わりがどんどんみられています。

二年目に突入しましたが、皆さんの「住む」という意識が高まり、自分たちで出来る事がますます増えていけるようサポートしていきたいと思います。

(馬場)



洗濯物を取り込み、それぞれの自室にて洗濯物をたたんでいます。

自ら早起きして朝食の準備をしていました

ケアホームはもちろん、障害のある方のことを知らずにくるくるに来て早一年。障害のある方は街でみかけるぐらいだし、何もできないと思っていたのに(失礼!)、ホームやホームヘルプでお会いした皆さんはこんなに何でもできるんだ!と驚きました。

ほんのちょっとしたことでできなかったこともできるようになるし、普通に接することができる。障害のある人ってコワくない?とよく聞かれますがまったくそんなことはありません!ホームの入居者の方々は最初はできなかったこともこの一年ですいぶんとできるようになりました。できないではなく、自分でやることに慣れていなかったのでしょう。ケアホームの生活になってからは自分の事は自分でやり、団体生活の中でのルールを守るようになりました。楽しいことばかりでもなかったと思いますが、これからも一緒に成長していけたらと思っています。

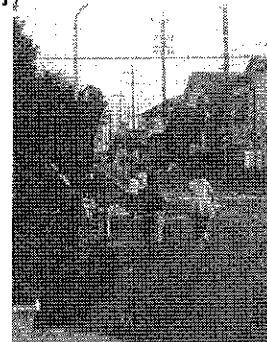
(椎村)



洗い物も任せて!

地域の清掃活動に参加!草取りや溝掃除がんばりました

★クリスマス会★ちらし寿司を作って、チキン、ケーキも。スタッフサンタもやってきた



日高小まで避難訓練も行いました

# \* 児童デイサービス \*

昨年 11 月から取り組んできたグループ化の整備がだんだんと進んできました。同じ目的を持った小集団での活動は、目的や楽しみを共有できるのでとても良い機会です。活動は常時小学生から高校生まで幅広い利用者さんが参加していますが、小学生が公園に行っている間に中高生が作ってくれたおやつをみんなで食べることもあります。小学生は感謝の気持ちをもつでしょうし、中高生は自分の得意分野を発揮できて人のために何かをする喜びを味わうこともできるでしょう。

なかでも小学部の目的として「小集団での活動を通じて仲間意識を養う」を掲げていますが、先日行ったもちつきイベントではこんなことが。ボランティアで来てくれた風船おじさんは何でも作ってくると大人気☆ある利用者さんが作ってもらった風船人形を大事そうにしていたのですが、ふとした拍子に割れてしまい大泣き(T\_T)そこへお姉さんが自分の風船人形を持ってきて「あげる」と渡していました。「風船が割れてかわいそうだったからあげたの」という言葉に感動するとともに利用者さんの成長を実感しました。これも小集団でいつものお友達と関わってきて仲間意識が芽生えていたからではないかと、スタッフ一同喜びもひとしおでした☆



みんなで  
ペタン!ペタン!!  
おいしいおもちが  
できました(\*^^)v

くるくる畑です☆

大きな体育館を借りて  
体をめいっぱい動かしました!  
大きい風船も大活躍(^\_-)☆



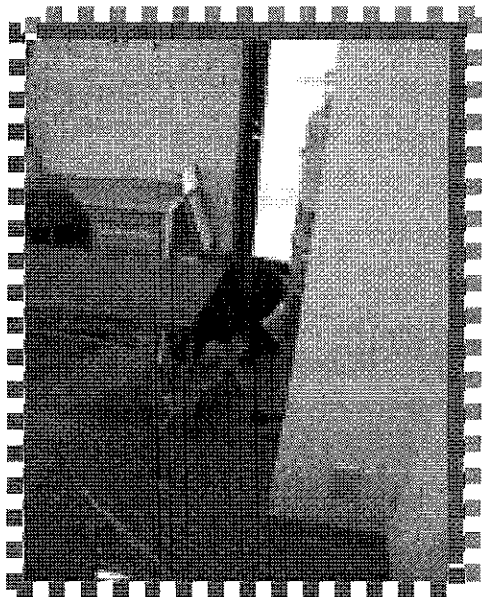
また、今後は高校卒業後のことにも意識を向けていけたらと思っています。生活していると目の前の課題や問題に悩まされ、将来のことを考えるのは後回しになってしまいがち、将来といわれてもどこから手をつけていいのかわからずして分らないのも当然でしょう。そこで先日利用者さんと一緒に、くるくるの活動の一つである就労移行支援事業の現場を見学に行きました。お兄さん、お姉さんの働く姿を見て、「かっこいい☆」百聞は一見にしかずとはこのことで、将来は自分も…と少しだけイメージできた利用者さんもいたのではないかと思います。今後は日中活動の見学・体験実習・実際の企業さんにも協力依頼して社会体験等、将来のビジョンを持ってもらえるような活動を取り入れていきたいと思っています。日中活動の担当スタッフと話していると、学齢期のうちに体得しておく良いことは本当にたくさんあります。くるくるの児デイだからこそできること、今だから力を注げることに着目して活動を組み立てていきたいと思っています。

(権田)

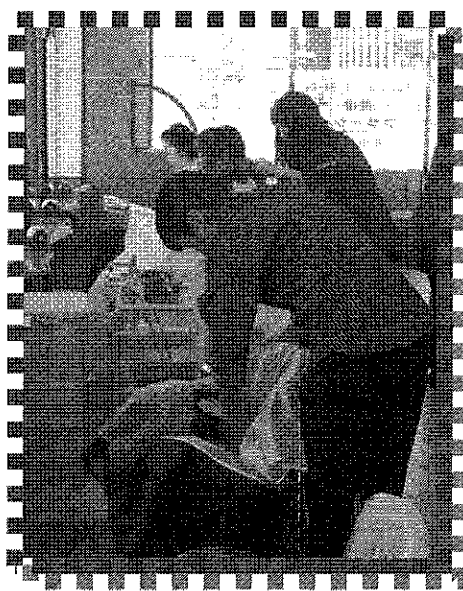
# \* 就労支援事業 \*

新年早々、就労支援センターくるくるにとって二つの吉報がありました。

ひとつめはIさんが昨年10月から12月末までの3カ月のトライアル雇用を経て、1月1日付けでM社で正式雇用となりました。二つめの吉報としては、Oさんが昨年11月から1月末までの3か月間、全国展開している理美容店P様（Y社）においてトライアル雇用で勤務していましたが、ご本人のがんばりが認められて2月より正式雇用の内定をいただいたとご本人より報告があったことです。



Iさん（くるくるにて）



Oさん（P様にて）

どちらともに《トライアル雇用》を経ての正式雇用という流れです。この《トライアル雇用》という制度は、3か月間の期限付きのお試し雇用で、障害者雇用においてとても効果的です。就職を目指しているメンバーさんにとっては、トライアル雇用先の職種や職場が自分にあっているのかどうかを実際に働いてみて判断できるメリットがあります。企業様も障害のある方を3か月間雇ってみて、本当に障害者雇用を続けていくことができるのだろうか、現場の従業員にも受け入れてもらえるのだろうか、ということ判断できます。さらに、その3か月間は企業様側に助成金が支払われるのです。3か月のトライアル雇用終了後に、障害のある方がこの職場で働いてみたいという意味と、企業様側がこの人を雇いたいという意味がマッチすれば正式雇用という形になるのです。

就労支援センターくるくるでは、今までで上記の2名も合わせて3名の方がこの《トライアル雇用》を経て一般就労されています。今後もトライアル雇用制度を有効活用して、就労支援をより一層後押ししていこうと考えています。しかし、トライアル雇用が諸事情で利用できない企業様もあります。《トライアル雇用》が利用できないそんな時は、【職務試行法】という障害者職業センターの制度も活用できます。

ハローワークの求人票の内容で《トライアル雇用》という旨のことが記載されていたら、ネーミングのように積極的にトライしてチャンスを拡げていきたいですね。

（中井）



# \* 生活介護 \*

新しい年を迎え、仕事始めにはメンバーとスタッフで近所の市原神社へお参りに行き、一年の健康と無事を祈念してきました。

昨年は新しく始めたアルミ缶・牛乳パックの回収分別作業を軌道にのせる一年でした。今年はさらに回収場所を増やしたり、新たにペットボトルのキャップ「エコキャップ」の回収事業を展開していく予定です(下段参照)。また、地域の遊歩道や公園、学校まわりを清掃しているクリーンサポートも二年めを迎えました。週4回の活動は市民の方々の目にもとまり、声を掛けて頂いたり、新聞やお便りで紹介されることも増えています。その活動が認められて昨年 Make a CHANGE Day 中日新聞社賞という賞もいただきました。今は、ボランティアで行っている活動ですが、将来的に仕事としてやっていけないかと夢は膨らみます。この一年が飛躍の年になっていけるよう、メンバー・スタッフ共に頑張っていきたいと思います。

(片岡)

刈谷市市民活動支援基金補助金受ける!!

## エコキャップからはじまる福祉のまち

この制度は刈谷市民が「刈谷のまちをよくしていくこと」を自ら自主的に行う活動の誕生・発展を応援することで、市民主体で解決する力をはぐくんでいくことを目的に、今年末から始まった資金支援制度です。

エコキャップを集めるということには

「誰にでもできる」

「身近なエコ」

「ゴミを減らせる」

「ワクチンに代えられる」といったメリットがあります。

地元密着のスーパーなどに回収ボックスを設置し、

生活介護のメンバーさんが回収・選別・シールをはがしをします。加工業者さんに運ぶと、エコキャップ推進協会からワクチンが途上国へ送られるという仕組みです。大きな収益に結び付くことは難しいですが、働くということはお金を得ることだけではなく社会に参加するということでもあります。

愛知県内において刈谷市のエコキャップ回収率はトップ、小中学校での回収がその割合のほとんどを占めていますが、学校卒業後の子どもたちの関心は回収場所が少ないために薄れがちな状況です。回収ボックス(エコボックス)を市民の身近なところに設置すれば回収率はさらにアップ!市民のエコ意識は高まり、メンバーさんの活動範囲は広がる…。ワクワクしてきませんか?さらに、市民の皆さんがエコキャップを手にしたたり、ボックスに入れたりするときに、生活介護のメンバーさんの働く姿が思い出されるようになれば、今年は刈谷市内のあちこちでそんな姿が目撃されるようにしていきたいと考えています。

刈谷市民の皆さん、うずまきマークのエコボックスをみかけたら是非ご協力ください!

(谷口)

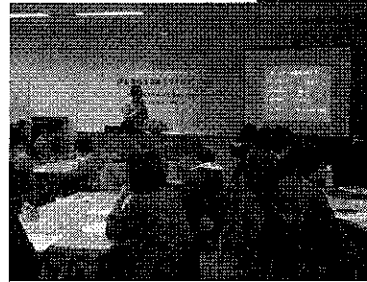
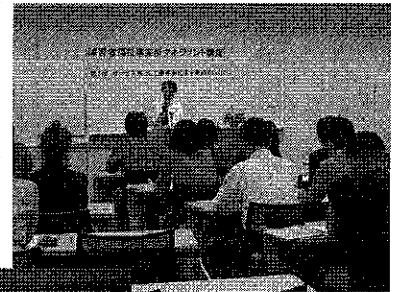


公開審査会の様子(12月4日)



# スキルアップ研修開催

地元の事業所の皆さんと「碧海地域福祉研修企画委員会」という任意団体を立上げ、県から助成金をいただき(予定)、スキルアップ研修を開催しています。福祉事業所のマネジメント・レベルアップを目指して5回連続の研修です。例えば「時間管理の必要性と実践」「サービス業として顧客満足度を高めていくには」「高スキルの支援者を目指す」…。毎回50人の参加があり、大好評です。



## ありがとうございました

寄付・寄贈 \*\*\* 卯野美保様 大場多恵子様 石川志保様 中村はるみ様 福岡剛様 松永祐季様  
報道関係歳末たすけあい義援金

\* 寄付金、文具、お菓子等いただきました。m( )m

刈谷産業まつり、デンソー夢卵2010でたくさんの募金をいただきました。ありがとうございました。

22年度会費 \*\*\* 鵜瀬公介様 押川里美様 佐藤博之様 清水則夫様 服部由香里様

\* 複数口いただいた方もいらっしゃいます、ありがとうございました！！

## 賛助会員を募集しています

くるくるでは、法人の理念・活動に賛同し、支援して下さる賛助会員を募集しています

- ・年会費 1口 3,000円
- ・会員特典 会報「くるくるつうしん」の送付、イベント等の情報の配信
- ・申込み 新規の方は、ご氏名・ご住所・TEL・FAX・所属先をお知らせ下さい。

・振込先 ●岡崎信用金庫 刈谷支店 3162778

特定非営利活動法人くるくる

代表理事 小野規正

●ゆうちょ銀行 00890-3-167757

特定非営利活動法人くるくる

●スタッフにお渡しくださっても結構です

退会の場合はお手数ですがくるくるまでお知らせください。

他の金融機関からのゆうちょ銀行への振込は089店 当座 0167757

